

北陵われら 2025



北海道札幌北陵高等学校



目次

1 時間目 学校紹介

[校名・校章・校訓](#)

[北海道札幌北陵高等学校の目指す姿](#)

(スクール・ミッション、スクール・ミッションを実現するために、スローガン、
学校教育目標等に込めた思い)

[校歌](#)

2 時間目 北陵生の生活

[日課](#)

[生活のきまり](#)

3 時間目 北陵の学習スタイル

[札幌北陵高校 3 ステージ制の概要](#)

[自己実現のための学習](#)

[2 期制、定期考査、出欠席のきまりについて](#)

4 時間目 北陵の進路学習

[将来の自分創りのために](#)

[1 年生の主な進路活動予定](#)

[卒業生の進路状況](#)

5 時間目 施設・設備

[校舎配置図](#)

[図書室の利用について](#)

[保健室の利用について](#)

[相談室の利用について](#)

6 時間目 生徒会・課外活動

[生徒会について](#)

課外活動 a [本校の部・局・同好会活動](#)

b [ボランティア活動について](#)

放 課 後 [自己診断](#) ～君も北陵生になろう～

1 時間目 学校紹介

校 名



北海道の「北」、北区の「北」と「陵」－丘・山－を示し、新しい学校が「北海道の最高峰を志向して立派な学校に生々発展してほしい」という願いを込めて名づけられたものです。

昭和 46 年 11 月 27 日道立高校の新設を決定すると同時に道教委が道民から校名を公募し、156 人の応募の中から石川美奈子さん、石垣公仁子さん、樋爪好雄さんの提案が採用されたものです。

校 章



北国の郷土性を表す雪の三稜結晶を柱とし、白雪は剛健、質実、勇氣、えい智を示している。三稜の三辺とペンの組合せは、学問と北の山（陵）を表し、「高」から三方に延びる線は、体力、気力、意欲を示すとともに、八方に生々発展することを象徴している。

この図案は、元札幌工業高等学校教諭上条一栄先生のご協力によるものです。

校 訓

自 立	人に甘えず自己の責任を自覚し、自己を確立する
敬 愛	思いやりの心を持ち、自己中心性を脱却する
進 取	常に前向きに取り組み、自己を高める努力を怠らない

北海道札幌北陵高等学校の目指す姿

I スクール・ミッション（「本校の使命」）

- 1 向学心や探究心を身に付け、自己の進路決定に向けて意欲的に学習に取り組む生徒の育成。
- 2 柔軟に対応する創造性を有し、主体的に課題解決に活用することができる生徒の育成。
- 3 進学校としての伝統を維持し、国公立大学はじめとする大学等への進学を可能にする生徒の育成。
- 4 進学先や就職先でも主体的に活動し、活躍できる力、「育成を目指す9つの資質・能力」を身につけ、卒業後もリーダーシップを発揮し活躍できる生徒の育成。

II スクール・ミッションを実現するために

学校教育目標 自己を開く 知を啓く 未来を拓ひらく

- 1 他者の考えにふれ、自己を成長させようとする姿勢
- 2 先人の知に学び、視野をひろげようとする姿勢
- 3 新時代の担い手としての使命を探り、社会に貢献しようとする姿勢

スローガン

『自分を、ひらけ。』

学校教育目標等に込めた思い

- グローバル化の社会では、個人の力量だけでは解決できない課題が多く、他者と協力して行動できる力「チーム力」が重要です。人は誰もこれまで学んだ知識や経験から自分の考えや価値観を持ち、それにこだわります。しかし、チームに貢献するためには、勇気を持って自分の殻(価値観)を破らなければなりません。北陵高校に入学してまず、そうした自己改革、仲間や先生の考えを聞くことが自分を成長させる「糧」と受けとめられる姿勢をめざします。
- 「先人の知」は教科書であり、先生、先輩、北陵高校の伝統など、いろいろな知を意味します。「知に学び」には、与えられる課題や効率的に点数を取るためだけの学習ではなく、疑問があれば納得できるまで自分で調べ、「揺るぎない知識・技能」を獲得しようとする、ひたむきな姿を込めました。粘り強く学ぶ姿勢をめざします。
- 授業はもとより、学校行事、部活動、ボランティア活動など、いろいろな経験を通して興味・関心や課題意識を持ち、自分のやりがいや社会に貢献したいことを自分から探究して、進路を切り開いていこうとする姿勢をめざします。

校 歌

作詞 瀬戸 哲郎

作曲 横谷 瑛司

[illegible]

一、はるけき雲や 先人ねむる 未来を開く いらか窺々たり 若き人 えい智にもえて 真摯に学ぶ	手稲山 みどり野に 抱負あれ わが校舎 夢おおく あけくれを
二、発寒 伏籠 豊かなる郷 未来を開く いらか窺々たり 若き人 えい智にもえて 身心をねる	ながれゆく 屯田に 個性あれ わが丘べ 夢おおく たくましく
三、真白き雪は 梢にうたう 未来を開く いらか窺々たり 若き人 えい智にもえて	頬を染め 鳥の声 不屈あれ わが道よ 夢おおく ひとすじに

作詞者 瀬戸 哲郎

東京高師国語卒

元、札幌藻岩高等学校長

作曲者 横谷 瑛司

東京芸大卒

元、北海道教育大学札幌分校教授

2 時間目 北陵生の生活

過度の緊張のもとでは実力を発揮できませんが、学習の根幹は環境と心構えにあるという視点に立ち、適度の緊張感をもって、1 時間 1 時間の授業に臨んでください。私たち教員も、厳しくもわかりやすい授業を全力で行っていきたいと考えています。授業を実りあるものとするためには、毎日の生活のリズムをみなさんが作り上げることが大切です。家庭学習もせず、目的もなく授業を受けるのではなく、「予習をしっかりと、充実した 1 時間の授業にする」という目標を持って過ごす 1 日、そして 3 年間は、みなさんのこれからの人生の大きな礎（いしずえ）になることでしょう。

- ◆ 8 時 35 分までにホームルーム教室に入り、授業の準備や朝学習などに取り組みましょう。
- ◆ 帰りの SHR が終了するまで、許可なく校地外にでることはできません。
- ◆ 始業チャイムが鳴る前に着席して、授業の準備を整えておきましょう。
- ◆ 机の中などに教科書をおきっぱなしにしないで、必ず持ち帰りましょう。
- ◆ 自分の成長のため、何事にも全力で取り組みましょう。
- ◆ 「北陵シラバス」を活用し、科目でつける力・進度・評価方法などを知って、学習への「構え」を作って授業を受けましょう。

日課表			
職員打合せ	8 : 20	～	8 : 35
SHR	8 : 40	～	8 : 50
1 校時	8 : 55	～	9 : 50
2 校時	10 : 00	～	10 : 55
3 校時	11 : 05	～	12 : 00
昼休み	12 : 00	～	12 : 45
4 校時	12 : 45	～	13 : 40
5 校時	13 : 50	～	14 : 45
6 校時	14 : 55	～	15 : 50
SHR	15 : 50	～	15 : 55
課外活動終了	19 : 00		

1 生活のきまり

生活の規律（ルール・マナー）

社会では、人間がお互いに生活していく中で、人に迷惑をかけないように法・規律など規範意識を持って責任ある行動が必要とされます。北陵生として充実した高校生活を送るために、しっかりした生活習慣を身につけることが大切です。北陵高校という集団の中で、一人一人が、品格・品性を向上させ、北陵高校の看板を背負って生活していることを自覚し以下の規律をしっかり守ってください。

〈服装について〉

◆本校指定の制服を正しく着用すること

- ① 男子のネクタイ、女子のリボン、第一ボタンが見えない位置につけること。
正装期間は、校内外問わず、必ず着用すること。
忘れた場合は、朝のうちに担任に申し出て借りること。
- ② 女子のスカート丈は膝が隠れる長さとする。
- ③ ワイシャツの第一ボタンを留めズボンやスカートの外に出して着用しないこと。
- ④ 男子のスラックスは裾を折って着用しないこと。
- ⑤ 女子のストッキングは、黒・紺・ベージュとする。
- ⑥ ソックスは、黒・紺の無地とする（ただしワンポイントまで可）。※白・グレーは禁止。
- ⑦ 冬季においてストッキングまたはタイツの上に防寒対策としてソックスを履く場合は、黒・紺の無地とする。

◆夏季略装について

- ① 夏季（6月上旬より9月末）は、ブレザーを着用しなくてもよい。
- ② ポロシャツの裾は出して着用してもよい。
- ③ ポロシャツの衿は立たせないこと。
- ④ ワイシャツはノーネクタイ、ノーリボンでもよい。ただし、ボタンは第一ボタンまで外してもよいこととする。
- ⑤ 詳細は、別途通知する。

◆ニットのセーター・カーディガン・ベストの着用について（着用期間については別に定める。）

- ① 色は、白・黒・紺・グレーの無地とする。柄物は禁止とする。
- ② ブレザーからはみ出さないように体型にあったものを着用すること。
- ③ 女子のスラックス着用を認める。（スラックス着用時はネクタイ）

※違反制服（ブレザーやスカート丈を短くした場合等）着用の場合、改善されなければ生徒支援G預かりとし新しい制服を購入してもらう。

〈履物について〉

- ① 外靴は、通学にふさわしいものとする。
- ② 上靴は、学校で指定したものとし所定の場所に記名すること。かかとを踏まないで履くこと。
- ③ 指定の下足ロッカーを使用すること。

※上記基準以外のものを着用しなければならない時は、異装届を提出すること。

＜頭髪・装飾品・持ち物について＞

- ① 頭髪は清潔・端正を基本とし、染髪・パーマ、まき髪等の加工は禁止とする。
ドライヤーやヘアーアイロンのかけ過ぎによる変色が認められた場合は、改善させる。
- ② 化粧やピアス・ネックレス・指輪・マニキュア・つけ毛・カラーコンタクトは禁止とする。
- ③ 学習に必要なものは学校に持ってこないこと。(遊具類、雑誌、漫画等)
違反者については、改善されなければ担任預かりとします。
- ④ 身分証明書は、必ず携帯すること。

＜校内生活について＞

- ① 午前 8 時 35 分入室・着席していること。
- ② 朝 SHR 時の遅刻の場合は、職員玄関から入り、手続きをして速やかに教室に入ること。
- ③ 1 校時が始まってから登校する場合は、最初に職員室に行き、担任あるいは学年の先生に入室許可書をもって教室に入ること。
- ④ 授業開始のチャイムが鳴る前に着席し、授業の始めと終わりの礼は起立して行うこと。
- ⑤ 礼儀作法（挨拶・言葉遣いなど）に心がけ、職員室・来客者のマナーを考えて行動すること。
(職員室に入室する際、オーバー・コート類を脱いで入室すること。)
- ⑥ 始業時から放課後までの間、生徒玄関からの出入り及び無断で校地外に出ることは禁止。通院等、特に外出の必要がある場合は、担任に申し出て手続きを取り、職員玄関から出ること。
- ⑦ 貴重品や金銭はなるべく持ってこないこと。持ってきた場合は、体育時や行事、部活動の際、必ず係の先生や担任・顧問に預けるか、責任を持って自己管理につとめること。(もし盗難に遭った場合は、速やかに先生方に報告することと盗難事故報告書を提出すること。)
所持品には、必ず学年・組・氏名を明記すること。
- ⑧ 拾得物や遺失物は速やかに先生に届けること。
- ⑨ 公共物を大切に使用すること。落書きやシール類を貼ったり絶対にしないこと。(机・椅子・壁・ドア・カーテンなど)
※公共物を破損した場合は、速やかに先生方に報告すること。
- ⑩ 最後に教室を出る生徒は、窓を閉め、カーテンを戻し電気を消して帰ること。
※授業で教室を空ける場合も節電すること。
- ⑪ 集会時は、身だしなみを整え、スムーズに移動・整列し、厳粛な態度で臨むこと。
- ⑫ 特に許可された物（体育着など）以外の私物は教室に置かず持ち帰ること。
- ⑬ 休日に登校する場合も制服を着用すること。(部活及び指定ジャージは可とする)

＜携帯電話・スマートフォンの使用について＞

- ① 校地内でのスマートフォンの使用は、朝 SHR 前、昼休みの 4 校時開始の予鈴前まで、帰りの SHR 後のみ認める。それ以外の時間は電源を OFF にし、カバンに入れること。
- ② 廊下・トイレ・更衣室では使用を禁止とする。
- ③ 無断で生徒・教員・校内を撮影・録音したり、その画像や動画・音声を SNS に投稿する等、人権やプライバシーの侵害につながる行為はしないこと。
- ④ 歩きながらや自転車を運転しながら操作しないこと。

＜校外生活について＞

- ① 外出の際は、身分証明書を携帯すること。
- ② 午後 9 時以降の外出は控え、午後 10 時には帰宅すること。

＜特別指導となる問題行動について＞

- ① 飲酒・喫煙・万引き・暴力行為などの問題行動は絶対にしないこと。
- ② シンナー・大麻・覚醒剤などの薬物には絶対に手を出さないこと。
- ③ 携帯電話やインターネットの使用に際してはルールやマナーを遵守すること（誹謗中傷の書き込みをしない、出会い系サイトなどの危険なサイトには近づかない等）。
- ④ 学生であることをしっかりと自覚し他人に迷惑をかけない、かけられないという強い意志を持ち、自分の行動に責任を持つこと。

※特別指導の問題が生じた場合は、家庭及び生徒支援 G・学年全体で指導することになる。

＜アルバイト＞

- ① アルバイトは原則として禁止です。学校生活や学習に専念すること。
- ② 家庭の経済的事情等やむを得ない理由がある場合は担任に申し出ること。

＜自転車通学について＞

- ① 信号無視・二人乗り・無灯火・並列走行・傘さし運転・逆走・ヘッドホン（イヤホン）を使用している運転、携帯電話を使用しながらの運転は交通違反となる。
上記のルールを違反した者については、自転車通学の許可を取り消される場合がある。
- ② 登下校には時間に余裕を持ち、交通ルールを守り事故に遭わないよう十分注意をすること。
（事故に遭った場合は、速やかに警察や学校に連絡した後、事故報告書を提出すること。）
- ③ 自転車通学をする場合は、点検整備をし、許可願を提出して指定のステッカーを貼ること。
（ステッカーの無い自転車は未登録車として通学を認めない。）
- ④ 自転車は学年指定の駐輪場に、整頓して奥から順に置くこと。（学校以外に駐輪しないこと。）
- ⑤ 自転車の利用期間は、学校の指示に従って守ること。
- ⑥ 自転車盗難防止のため、ステッカー貼付と丈夫な施錠（二重ロック）をすること。
（もし盗難に遭った場合は、速やかに先生方に報告することと盗難事故報告書を提出すること。）

＜バス乗車マナーについて＞

- ① 乗車時には、速やかに奥から順に詰めて乗ること。（乗務員の指示に従うこと。）
- ② 一般の乗客の方が、不快感を持つような行為は絶対にしないこと。
（大声で笑ったり話をしたり、座席にカバンを置いたりしないこと。）
- ③ 冬期はバスが遅れることが予想されるので、早い時間帯のバスに乗るように心がけること。また、車内ではリュックを手で持つか足元へ置き周りの人の迷惑にならないような行動をとること。

〈運転免許について〉

- ① 運転免許証の取得は原則禁止とする。
- ② 保護者以外が運転する車両での登下校は禁止とする。
- ③ やむを得ず必要があつて、免許を取得するときは、事前に、本人及び保護者が担任と相談し、所定の手続きをすること。

◆やむを得ぬ事情とは

- ア 卒業後の就職が内定（決定）しており、かつ、保護者から運転免許取得許可（以下 「許可」とする。）の要請がある場合。
 - イ 家業に従事しており、かつ、保護者からの許可の要請がある場合。
- ④ 運転免許を取得する時期は、原則として3年の家庭学習期間からとする。
 - ⑤ バイク、自動車等の車両運転は卒業まで認めない。
 - ⑥ 次に該当する行為があつたときには、保護者来校のもと、学校の本旨に則した指導と協力を要請するとともに、運転免許証については保護者の責任の下、卒業まで管理する。
 - ア 無届けでバイク、自動車等の運転免許を取得したとき。
 - イ 無届けでバイク、自動車等の車両運転の事実があつたとき。
 - ウ 「車両による暴走行為」「加害事故」（同乗を含む）等の事実があつたとき。

3 時間目 北陵の学習スタイル

1 札幌北陵高校 3 ステージ制の概要

3 年間の学習を通して身に付ける資質・能力

北陵高校では、あらゆる教育活動を通じて、9つの資質・能力を育成することを目指しています。



第1ステージ【基礎育成期】

- 1年～2年前期までの1年半の期間
- 2年6月に文型か理型かの類型選択を決定するので、それまでに自分の適性を把握し、将来の進路を考える時期

第1ステージの目標

- ◆ 本校の授業サイクルに慣れて、予習－授業－復習、課題提出など学習についていくことができる
- ◆ 家庭学習が習慣化している北陵生になる
- ◆ 国語・数学・英語の基礎力を固める

第2ステージ【実力伸長期】

- 2年後期～3年前期までの1年間
- 自分で決めた進路目標に向かって実力を伸ばしていく時期
- 第2ステージから、文系国公立大学への進学に対応した文型と理系国公立大学への進学に対応した理型にクラスが分かれて学習する

第2ステージの目標

- ◆ 基礎育成期に身に付けた国語・数学・英語の基礎力に加え、地歴公民・理科の学習を本格的にスタートさせる
- ◆ 基礎力が不足していると自覚している場合は半年間のうちに基礎固めをする
- ◆ 与えられてする勉強だけでなく、自分でやるべきことを計画的に勉強できるようになる

第3ステージ【進路達成期】

- 3年後期の約3ヶ月間
- 進路目標の実現に向かって最高の努力をする時期

第3ステージの目標

- ◆ それぞれの進路目標を達成するために全力で取り組むことができる
- ◆ 先に進路が決定した生徒も仲間の進路実現に協力し、“受験は団体戦”を合い言葉に全員で進路を勝ち取る

2 自己実現のための学習

快適で効果的な学習プラン

高校での学習は、単なる知識獲得ではないと考えます。多分野にわたる学習活動を通して、幅広い視野で物事を考えたり見据えたりできる人間になるための、本来的な知的活動と考えます。つまりは、より豊かで深みのある「人間形成」を目指していると言えるでしょう。同時に君たち自身が描いている「将来設計」を実現させるためのものとも考えます。つまりは、「進路実現」をも目指していると言えるでしょう。

「人間形成」と「進路実現」すなわち自己実現のための学習と考えてください。

自己実現を目指した学習活動が成果をあげるためには、授業を中枢に据えた予習→授業→復習→予習という学習の基本サイクルを確立し、それを維持することが必要です。特定科目に偏ることなく、文系科目・理系科目のバランスの取れた学習プランを設計しましょう。また、計画を実行するためには、あまり学習だけを詰め込むことなく、適度にインターバルを取り入れることを心掛けてください。

新しい環境で、新しい生活に早く慣れるためにも、快適で効果的な学習プランを作り、それを実践することが大切です。さっそく1週間のプランニングに入ってみましょう。

学習プランニング～授業、部活動、家庭学習、自分の時間を上手く回すために～

- 部活動をしている生徒は上手く時間をやりくりして学習時間の確保に努めましょう。
- 授業に集中すること、そして、朝の時間を有効活用するのが良い方法です。
- 早寝早起きをベースにして生活のリズムを早く固めることが大切です。On と Off をしっかりと切り替えて、集中して学習しましょう。

授業で勝負！

科目に十分習熟していないうちは、自分の時間と自分の力を使った予習・復習には自ずと限界があります。とりわけ1年生のうちは、「予習はアップ」「復習はフォロー」と考えてください。「本番」は「授業」。先生方は皆さんの自己実現をサポートすべく、誠心誠意授業で勝負に臨みます。どうか、その熱い思いを真剣に受け止めてください。皆さん自身も授業で勝負に臨んでください。

「北陵われら」の「各教科の学習内容」には学習概要が、「シラバス」には具体的な学習内容と進度が載せられています。それらを参考に、また、実際の授業を通して科目の「特徴」や「学習法」を研究し、個々の科目の授業展開の仕方、資料やノート の 処 理 法 など を 早 期 に つ か む こ と が 大 切 で す。また、分からないことを放っておくことだけは止めましょう。授業中にチャンスがあれば授業中に、なければ休み時間や放課後に、担当の先生に質問してください。分からないことを溜めないで、納得がいくまで遠慮なくどんどん質問してください。クラスの「オーソリティ（専門家）」にアプローチすることも良い方法です。先生方や仲間に助けられながら、分かる自分を作っていきましょう。分かることが増えていけば、「アップ」や「フォロー」の質が高まり、授業への臨み方も変わっていくこと、間違いなし。

主体性と気概とを携えて、教室に「いる」自分、「真面目な書記さん」を越えて、君の自己実現を目指して、授業で勝負！

3 2 期制・定期考査・出欠席のきまりについて

◆2 期制と評価

- 1 本校では、1 年を前期と後期にわけて授業を行い、学期ごとに学習評価をつけます。
- 2 成績は、定期考査の点数と授業や家庭学習や授業内での取り組みを点数化した活動点をあわせた 100 点満点の評価点でつけられます。
- 3 学習成績の評定は評価点に応じて以下の表のように「5」～「1」の 5 段階でつけられます。
- 4 評定が「1」となった科目は、単位の修得が認められません。
- 5 評価・評定の基準は次のとおりです。

◆定期考査と一斉テスト

- 1 定期考査の日程
前期中間考査 6 月中旬
期末考査 9 月中旬
後期中間考査 11 月下旬
期末考査 2 月下旬（第 3 学年を除く）
- 2 考査時間割は 10 日前までに発表し、定期考査の 1 週間前より部活動は原則として停止します。
- 3 正当な理由で定期考査を受けられない場合は、追考査を受験できます。
- 4 定期考査で不正行為が発覚した場合、当該科目の成績は 0 点となり、追考査は受験できません。

◆出欠席のきまり

- 1 （出席日数）進級認定の条件として、その学年における出席しなければならない日数の 80% 以上に出席している必要があります。
- 2 （出席時数）単位修得の条件として、その科目の学期ごとの標準授業時数の 80% 以上に出席している必要があります。
- 3 （忌引日数）忌引日数は、死亡の事実を知った日から算定して、次のとおりです。
 - (1) 父母 7 日
 - (2) 祖父母・兄弟姉妹、同居親族 3 日
 - (3) その他の親族 1 日
 - (4) 年忌法要 1 日
- 4 （特別欠席）次の場合による欠席は、特別欠席とし、出席の扱いとします。その主なものは、
 - (1) 高体連・高野連・国体関係の大会に本校代表として出場する場合
 - (2) 高文連の主催する大会に本校代表として出場する場合
 - (3) 本校生徒を代表して葬祭等の行事に出席する場合
 - (4) 学校が認めた進学・就職のための受験の場合
 - (5) その他、校長が承認した場合

4 時間目 北陵の進路学習

1 将来の自分創りのために

北陵で過ごす3年間は楽しいことばかりではありません。友人関係で傷ついたり、進路のことで悩んだり、勉強に行きづまってしまうこともあるでしょう。しかし、人との関わりを避けたり、大切な勉強を疎かにしたりしては、人として成長することはできません。今はまだ、自分の将来を想像できなくても、目の前にある課題に全力で挑戦し、そのひとつひとつを克服していくようにしましょう。そうすれば、自ずと道は開けてゆくものです。もちろん、困ったり悩んだりすることがあれば、北陵高校の先生に相談してください。答えをあげることはできないかもしれませんが、一緒に悩むこととなります。待っています。

3年後、みなさんが「自分は北陵で精一杯やった」という自信と誇りを持ち、胸を張ってこの学舎から巣立ってゆくことを期待しています。

◆高校は何をすることか？

勉強、部活、学校行事など、高校で学ぶことは様々ですが、その全てに共通する一番大きな目的は「自分を創る」ことです。勉強することで知性と教養にあふれた自分を創り、スポーツや文化活動を通じて、逞しい肉体と感性豊かな人間性を創り、規律に則った学校生活から調和と規範意識を学び、社会生活の中で自己の才能を発揮できる自分を創る。これが北陵高校の目指す学校教育目標「1. 自己を開く 2. 知を啓く 3. 未来を拓く」、スローガン「自分を、ひらけ。」なのです。

不満や戸惑いを感じることもあるでしょう。しかし、そのすべてが「自分創り」のための学びなのだということを忘れないでください。

◆高校卒業後の進路を考えよう

入学したばかりなのにもう卒業後のこと？と思うかもしれませんが、卒業後の進路は常に意識しておくべき問題です。卒業生の多くが、1年のときからもっと進路のことを考えておけばよかった…と後悔の言葉を口にします。普通科の高校で学ぶこと（特に勉強の内容）は、どこの学校でも基本的に大きく変わるものではありません。しかし、大切なことは「何を学んだか」よりも「どう学んだか」です。3年間の学びの成果が問われる卒業後の進路は、あなたの人生に大きな影響を与えるものになります。高校の3年間は人生の方向性を決める時期なのです。大切な高校生活の日々を1日たりとも無駄に過ごしてはなりません。目標をもち仲間と学び合い、保護者の方と相談しながら進路の方向性を決めていきましょう。

進路決定のためには、次の三つの段階があります。

自己理解

まず、自分の持ち味を客観的に評価できるようになりましょう。

高校は社会人になるための土台づくりの時期です。日々の学校生活（授業・講習、学校行事・部活動など）の中で自分を磨き、理想とする将来の姿に近づく努力をしましょう。そうすれば、自分の伸ばすべき長所・改善すべき短所ともに見えてくるはずです。

職業・学問研究

興味関心のある職業について幅広く研究し、将来自分が付きたい職業を探してみましょう。さらに、その職業に就くためには、どのような適性が必要で、どのような学問を修めるべきかを研究しましょう。

進路実現

進路目標を立てたならば、その実現に向けて対策を練り、すぐに一步を踏み出しましょう。その歩みを止めずに、粘り強く進み続けることが、皆さんの進路実現に繋がります。目標実現のための粘り強い努力は、その後の皆さんの人生を豊かにし、可能性を最大限に広げるはずです。

◆進学のための準備

進学には、大きく分けて大学進学と各種専修学校進学があります。大学では研究機関として評価が高く、学生一人一人への教育予算の厚い国公立大学に人気が集中しています。各種専修学校では、看護師、理学・作業療法士養成などの医療技術系に進む人が多いのが最近の傾向です。

国公立大学の入学試験は、高校受験とは比べものにはならないほど厳しく、国公立大学への進学を果たすためには、1年生の時期から計画的に学習していくことが必須です。では、「1年生から計画的に行わなければならない進学のための準備」とは何でしょう？それは特別な受験勉強などではなく、日頃の授業です。小さなことを積み重ねることによってやがて大きな目標を達成できるまでになっているはずです。そして、ただ授業や講習を受け、用意された課題を待つのではなく、自ら次に何をすべきかを常に考え、行動してください。

また、進路指導室には豊富な進路情報が整っています。赤本などの過去問題集はもちろん、各大学・専修学校の案内や募集要項、進路関連雑誌、冊子、生徒用のパソコンではインターネット検索や先輩方の受験報告書を閲覧・印刷することもできます。進路指導室を十分に活用してください。

◆将来社会に出るための準備

AI(人工知能)の普及に象徴される現代社会の劇的な変化に対応できる社会人の育成をめざして大学入試や大学教育も大きく変わろうとしています。

大学入試について言えば、知識だけではなく、「高校時代に何に興味を持ち」「仲間と共にどのように学びを深めたのか」を評価して可否を決める新たな入試方法も導入されます。

自分の心を開いて他者の意見にも耳を傾け、他者との対話を通じて自己を客観化し自分の考え方を磨いていけるという資質は上級学校や社会人になっても必ず必要とされるものです。進路指導部では座学の授業だけでは培うことのできない「調和の取れた人格形成」のために様々な行事を企画し、皆さんの進路実現を応援しています。

2 1年生の主な進路活動予定（令和6年度より）

- 4月 スタディーサポート① 進路希望調査①
- 6月 学問職業研究
- 7月 進研模試 職業適性診断 夏期講習
- 10月 進学相談会 進路希望調査② 卒業生講話
- 11月 進研模試 進学講習
- 12月 冬期講習
- 1月 進研模試
- 3月 スタディーサポート② ポートフォリオまとめ（1年の振り返り）

【進路グループが企画する行事】

進路講話、進路講演会、大学説明会など

卒業生の進路状況

51期（令和7年3月卒業）生 大学・短大・専修学校・就職の現役合格者数

国公立大学	合格者数
北海道大	3
小樽商科大	13
北海道教育大札幌校	6
北海道教育大旭川校	3
北海道教育大岩見沢校	4
北海道教育大函館校	3
帯広畜産大	1
室蘭工業大	19
北見工業大	2
札幌医科大	1
札幌市立大	4
名寄市立大	1
千歳科学技術大	4
はこだて未来大	2
釧路公立大	7
弘前大	5
岩手大	1
筑波大	1
千葉大	1
富山大	1
金沢大	1
信州大	1
滋賀大	1
広島大	1
高知大	1
琉球大	1
高崎経大	1
高知工科大	2
長崎県立大	1
合 計	92

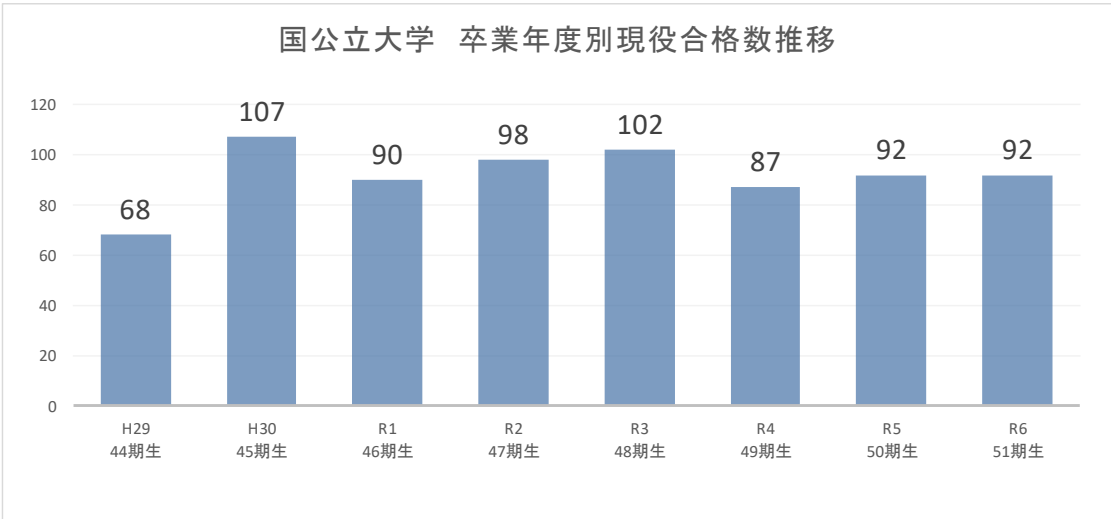
私立大学	合格者数
札幌大	9
札幌学院大	19
札幌国際大	3
星槎道都大	2
藤女子大	15
北星学園大	42
北海学園大	158
北海商大	11
北海道医療大	25
北海道科学大	104
北海道情報大	5
酪農学園大	4
北翔大	7
北海道文教大	2
天使大	8
札幌大谷大	2
札幌保健医療大	7
日本医療大	10
北海道武蔵女大	1
八戸工大	1
獨協大	1
千葉工大	1
駒澤大	1
専修大	2
創価大	1
中央大	3
東海大	5
東洋大	5
法政大	5
立正大	1
金沢工大	1
中京大	1
至学館大	1
南山大	1
京都橋大	2
同志社大	1
立命館大	1
関西学院大	2
九州産大	1
中村学園大	1
福岡女学院大	1
合 計	473

短期大学	合格者数
北海道武蔵女短	2
光塩学園女短	1
名古屋短	1
合 計	4

大学校	合格者数
水産大学校	1
合 計	1

専門学校	合格者数
医療系（看護）	8
医療系（医療技術）	9
簿記・情報・ビジネス系	1
ファッション・芸術系	2
その他	11
合 計	31

公務員・一般就職	合格者数
札幌市消防局	1
北海道警察	1
東京消防庁	1
警視庁	1
埼玉県警察	1
自衛隊	1
合 計	6



5 時間目 北陵の校内施設・設備

北陵高校の施設・設備・環境は、毎年少しずつ整備修繕されています。植えられた樹木の数、種類も豊富です。これらの木など大切に育てることはもちろん、校内の施設を大事に使うようにしましょう。

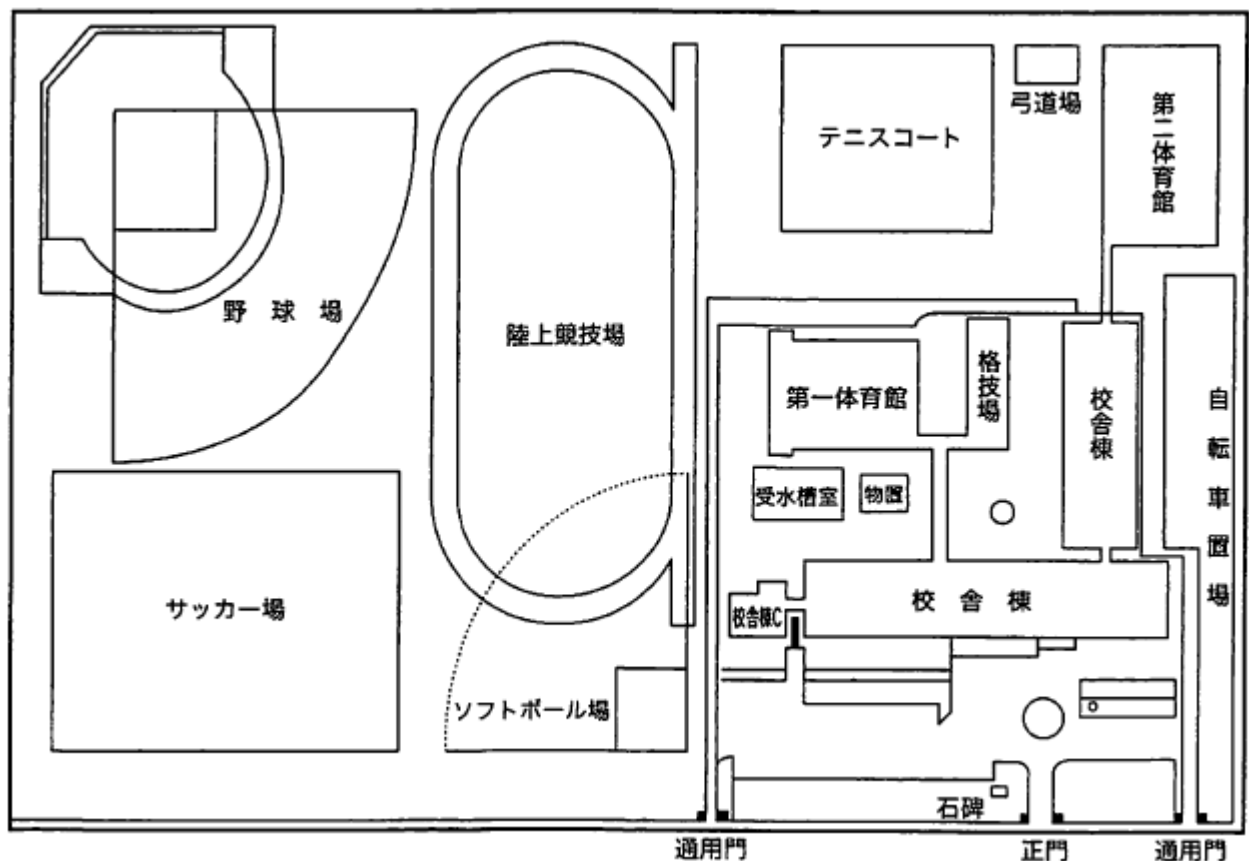


このいちい（オンコ）の木は、開校5周年の祝賀行事の一環として植樹されました。

当別付近の道有林を歩き回って見つけた樹齢200年の銘木でした。

北陵高校の生徒が大きな木のように風格のある立派な人間に育ってほしいという願いが込められています。

1 校舎配置図





2 図書館の利用について

図書館は、皆さんの勉強や教養のために必要な図書・資料を収集し、利用しやすいよう整理された施設です。読書は、新しい知識をもたらしてくれるとともに、考えるためのヒントを与えてくれます。自ら学ぼうとする高校生にとって、図書館は大きな喜びとなるでしょう。

時には、心のリフレッシュに気軽に図書館を活用してください。

開館時間

月曜日～金曜日 昼休み、放課後16：00～16：50
学校行事、定期考査、長期休業中などについては、その都度お知らせします。

貸 出

昼休みと放課後に行います。（一般図書、雑誌のバックナンバー）
貸出冊数は5冊までで、期間は2週間までです。

予 約

借りたい本が貸し出されている場合は予約ができます。

リクエスト

読みたい本がないときには、リクエストすることができます。

返 却

開館中はいつでもカウンターで返却できます。
返却日は必ず守ってください。

紛失・破損

図書を紛失、破損した場合には、現品で弁償になります。
直ちにお知らせください。

インターネット

インターネット専用でパソコンが使えます。
インターネット上には、たくさんの情報が氾濫しています。
正しい情報が伝えられているか、十分注意しながら上手に使いましょう。
自宅のPC(ネット接続)から北陵高校図書館の蔵書検索ができます。
方法は以下の通りです。

蔵書検索

- ① URL <https://www.eslip.jp>にアクセス
(検索サイトからキーワード「e-slip」と入力してもアクセスできます。)
- ② ユーザーID「U0117723051」(Uは大文字で入力してください)。
パスワード「fumikura」を入力してログインします。
- ③ 書籍検索画面が表示されますが、上のメニューから「蔵書検索」を選び、クリックしてください。(北陵高校図書館の蔵書が検索できます。)
- ④ 探したい本の書名や、著者名等を入力し検索ができます。

1 注意事項

- (1) 館内では静粛にし、他の利用者に迷惑をかけないように心がけましょう。
- (2) 利用する資料(本・雑誌・新聞等)は大切に扱い必ず元の位置に戻しましょう。
- (3) 飲食物の持ち込みは禁止です。

※図書館の利用に関してわからない場合は図書室カウンター内の係に聞いてください。

3 保健室の利用について

保健室は、生徒が自分の健康に関心を持ち、健康な学校生活を送ることが出来るよう支援する場です。上手に活用してください。

◆充実した学校生活を送るために

- 1 規則正しい生活をして、健康に学校生活が送れるように努めましょう。
- 2 困ったことがあった時は、まわりの人に相談するなどして一人で抱え込まず、生き生きとした生活が送れるようにしましょう。
- 3 成長期の高校生には、栄養価の高い、バランスを取れた食事が必要です。三度の規則正しい食事を取ることで、また昼食は弁当持参が出来るように、自分で作ったり、または保護者の方に協力をしてもらいましょう。

◆自己管理をしっかり行いましょう

- 1 朝から体調が悪い時は自宅で体温測定を行い、授業を受けられる状況かどうかを、登校前に自分で判断するよう習慣づけましょう。
- 2 4月から6月にかけて健康診断が実施されます。自分の健康状態を把握し、病気の予防、治療に役立ててください。検査の結果、精密検査または再検査の指示を受けた人は、早めに専門機関を受診しましょう。

◆日本スポーツ振興センターについて

学校管理下（登下校含む）で災害が発生し病院で受診した場合、医療費が給付される制度です。受診したら担任の先生に伝えた上で、なるべく早く保健室に書類を取りに来てください。書類を渡して手続きに関する説明を行います。

◆保健室利用について

- 1 保健室は、なるべく休み時間に利用しましょう。
- 2 授業の始まる直前、または授業中に保健室に来室する場合は、教科担任に直接、自分で伝えてから来室しましょう。
- 3 保健室来室時には、「保健室連絡票」を記入します。処置を受けた後、授業に戻る場合は教科担任に、始業前・休み時間・放課後については担任の先生に「保健室連絡票」を手渡してください。授業中の保健室利用の時間が出席時数と関わってくることもありますので、日頃から体調管理をしっかり行いましょう。
- 4 保健室での休養は、回復の見込みがある場合の原則1時間以内を目安としています。保健室で休養した場合、または手当てを受けた場合は、当日中に必ず保護者に報告しましょう。

4 相談室の利用について

本校には相談室があり、教育相談担当の先生が在室しています。また、月1～2回カウンセラーの先生が来校します。

迷いや悩みなどがある時、人に話してみると心が楽になることがあります。さらに、自分の問題が整理されたり、解決の道が見つかったりすることもあります。

相談室の利用に難しいルールはありません。いつでも、気軽に利用してください。

◆相談で大事にしていること

- 1 あなたの話をよく聴き、あなたと一緒に考えます。
- 2 あなたが知られたくないことは秘密を厳守します。
- 3 あなたの希望に添うようにします。たとえば、日時や相談したい先生などです。
- 4 あなただけでなく、保護者の方とも相談が可能です。ご家庭の方にも伝えてください。

◆北陵高校の相談室

北陵高校では開校時から「ひとりひとりを大切にし、その特性を育てる」という理念に基づいて教育相談活動が行われてきました。相談室で話をすることで、自分を取り戻したり、将来の生き方を見つけ卒業していった多くの先輩がいます。

◆思春期にあるあなたのこと

1 身体的成長と精神的成長

身長がどんどん伸びる身体的な成長とともに、大人に近づいているという精神的な成長に自覚を持ち始めていることでしょう。しかし、周囲の人からは認めてもらえず、緊張や対立関係が生じることもあります。

2 性の発達と不安

男性らしい、女性らしい特徴が目立ってくる時期です。発達が著しいため、自己の性的な発達を肯定的に受け入れられず、不安や自己嫌悪に陥ることもある時期です。

3 知的発達

知的欲求も旺盛で、様々なことに対する見方も変化していきます。前向き・創造的に生きていくために、自己を磨いていける時期でもあります。

4 自己の確立と価値観

関心を自分自身の内面に向け始めます。そして、今まで与えられてきた価値観を見直して、自分なりの価値観を築こうとします。つまり自覚的人間として成長しはじめる時期です。

6 生徒会・課外活動

1 生徒会について

◆生徒会とは

生徒会には生徒全員が所属します。一人一人が北陵高校生徒会の一員であるということを自覚して、生徒会活動に積極的に参加して欲しいと思います。

さて、生徒会活動に参加するとは具体的にどういうことでしょうか。例をいくつかあげてみましょう。「生徒会本部役員として生徒会の運営に携わること」、「各委員会の委員や HR の役員として校内・クラス内の仕事を担当すること」、「部活動に所属して頑張ること」、「北陵祭や体育大会などの生徒会行事に一生懸命取り組むこと」、「生徒総会で議長団を担当して議事を進行すること」等々、実は学校生活の様々な場面に活動の場が用意されていて、それぞれで頑張ることで学校全体を盛り上げるのが生徒会活動なのです。

高校生活を、充実したものにしていくためにも、みなさんの力を生徒会活動に発揮してください。みなさんの自覚と積極的な参加が、生徒会活動を活発にする原動力です。

◆生徒会のしくみ

生徒会の最高議決機関は生徒総会です。しかし、年 1 回の開催なので、通常の決議事項は、各 HR から 2 名ずつ選出される代表委員会によって審議・議決されます。

生徒会行事の企画・運営など、通常の生徒会業務は本部役員が担当します。本部役員の構成は、会長、副会長、経理部長・次長、庶務部長・次長、および本部部員からなり、本部部員以外は選挙で、全校生徒の投票によって選出されます。「本部部員」は、本校独自のシステムで、新入生（2 年生からの参加もあります）のうち生徒会活動に興味のある生徒が 4 月当初から生徒会本部の活動に参加するものです。

新入生のみなさんで、生徒会に興味のある人は、是非「本部部員」となって、すぐにでも生徒会活動に力を発揮してください。

新入生対面歓迎会

新入生と 2・3 年生の顔合わせの会です。

生徒会本部の活動や各行事の説明が行われます。また、工夫を凝らした歓迎のアトラクションや各部活動からの勧誘が行われます。

生徒総会

生徒会最高決議の場です。1 年間の生徒会活動方針や予算など、生徒会の重要な取り決めが行われます。

高体連壮行会

高体連大会に出場する選手たちに温かい声援を送る会です。

選手たちからは試合に臨む決意が述べられます。

北陵祭

学校全体が一丸となって取り組む生徒会最大の行事です。

行灯行列と前夜祭に始まる 3 日間、クラスパフォーマンス、展示、有志発表、食堂、学級旗など北陵高校最大の行事です。

体育大会

北陵祭と並ぶ生徒会の 2 大行事です。運営は体育委員会が中心となって行いま

す。球技を中心とした各種目にクラス対抗で 2 日間の熱い戦いを繰り広げます。

自分の生徒会活動の目標が決まったでしょうか。高校は勉強をするだけの場所ではありません。委員会活動や部活動、生徒会行事など、生徒会活動にもみなさんの力を注いで欲しいと思います。

3 年間の高校生活を充実した実りあるものにするためにも、一人一人が積極的に生徒会活動に参加して活動を創り上げてください。みなさんの活躍を期待しています。

2 課外活動

◎本校の部・局・同好会活動

現在、本校の部活動としては、外局 3、部 23（運動系 16、文化系 7）、同好会 1 があり、活発な活動を展開しています。本校生徒の部活動加入率はおおよそ 80%で、多くの生徒が部・局・同好会に所属し、勉強と両立して頑張っています。

このように、部活動が盛んなのは、本校の生徒が「勉強も部活動も頑張る」という積極的な高校生活を送っている現れだと思います。みなさんも、部活動に積極的に参加して頑張ってくださいと思います。

◆野球部

現在部員 24 名（3 年生 6 名、2 年生 15 名、マネージャー 3 名）で活動しています。シーズン中は各大会に向け、一人ひとりが目標を持ちながら練習に励んでいます。練習メニューもチームの状況を考え、選手主体で考えています。冬期間は個々の能力アップを中心に、屋外でティーバッティングをしたり、室内練習場を借りたりして練習しています。また、校舎内ではトレーニング室を利用し体幹トレーニング、筋肥大・筋力アップトレーニングを行っています。年間の練習を通して技術・体力・精神力を向上させることを目標にしています。野球ばかりではありません。勉強面もおろそかにせず両立を目指しています。白球に夢を託し夏の舞台へ向けて、選手一人ひとりが真剣に練習に取り組む部活です。新入生のみなさんの経験の有無は問いません。野球が好きで 3 年間頑張れるあなた！グラウンドで待っています！なお、坊主頭の強要はしていません。



◆陸上競技部

陸上競技とは自己との戦い。そして記録への挑戦。それは技術や体力だけでなく心をも磨くこと。私たちは人間力を高めることが競技力の向上に通じると信じ、日々練習に励んでいます。毎年のように全道・全国大会出場者を輩出し、その頑張りを継続して国公立大学進学者も多数おり、勉強との両立も達成しています。陸上競技には走・跳・投・混成と多くの種目があり、きっと自分に合った種目が見つかると思います。コンマ 1 秒、1 センチでも過去の自分を超える喜びを一緒に味わいませんか。そして共に全道、全国を目指しましょう。現在部員 19 名（3 年生 11 名 2 年生 8 名）。

◆サッカー部

全道大会出場を目標に大雨や吹雪でグラウンドを使えない時を除き、外で練習しています。その中で技術・体力のみならず、礼儀作法やマナー・モラル等も身につけるように心がけています。また、冬休みには東京に遠征合宿に行きます。楽しくそして厳しく自分を磨きませんか。グラウンドで待っています！

◆バレーボール部(男子)

私たちは何をやりたいのか。そのためにどんな努力が必要か。高校に入学し、それらを 1 つずつ自分の意思で決め実行していくことが必要です。技術向上、体づくり、精神力。ひとつひとつの努力の積み重ねで目標が達成されていくことを、バレーを通して学んでみませんか？

◆バレーボール部(女子)

私たち女子バレーボール部は、札幌地区ベスト 8、全道出場を目標に日々練習に取り組んでいます。基本技術や体力の向上はもちろん、コートの中で自ら“判断”をして行動できるようになるため、日々の練習に励んでいます。



◆男子バドミントン部

バドミントンは、体力・技術力・集中力が求められるスポーツです。ですから、練習は決して楽なものではありません。しかし、日々の厳しい練習を通じて得たものは、必ずやあなたの人生においての貴重な宝物となるはずです。昨年度は新人戦において、個人戦、団体戦ともに全道大会に出場することができました。努力と練習は無駄にはならないと信じることで、それが勝利へと導いてくれるのです。さあ、高校生活3年間、バドミントンに打ち込んでみませんか？

◆女子バドミントン部

バドミントンが好き！それが一番大事！常に感謝と前向きな気持ちで練習に臨み、少しずつ積み上げてきたものを試合で生かす。女バドは「楽しく、強く」がモットーの青春女子の集まりです。



◆ハンドボール部(男女)

欧州ではサッカーと並ぶ人気スポーツ！スピーディーな動きとパスワーク。ゴール前で展開される激しい攻防。ダイナミックで華麗なシュート。体を張ってゴールを守るキーパー。投・走・跳・接触のすべてが必要な、正にスポーツの中のスポーツ。総合アスリート目指して、仲間と一緒に闘おう！全道・全国目指しましょう！



◆男子バスケットボール部

相手を抜き去るすばやいドリブル、ゴールを演出する華麗なパス、試合を決める勝負所でのシュート。男子バスケットボール部は、現在部員 18 名（3 年生 8 名、2 年生 6 名、マネージャー 4 名）で活動しています。チームとして船の大きさや進む方向を合わせて「札幌地区 8 位」を目指し、日々練習に励んでいます。バスケットが好きな人、バスケットに興味がある人、体育館で待っています！



◆女子バスケットボール部

放課後は、上靴からバッシュに履き替え、ボール片手に体育館へ猛ダッシュ。練習中でも笑顔が絶えない女バス。ゆるーく練習しているように見えて、ベスト 16 常連校。

現在部員は 14 名（3 年生 6 名、2 年生 8 名）。上手な身体の使い方をはじめ、基礎・基本から楽しく練習できます。ぜひぜひ、皆さんと一緒にバスケットに打ち込んでみませんか？



◆弓道部

的を見つめる視線“集中力”。何が起きようとも動揺のかけらも見せぬ“精神力”。そして的を貫く“気合い”。これらの一体化が弓道です。技術の上達と内面的な成長する。弓道は、こうした人間性の向上も促してくれます。的を射、そしてその中に真の自分を見てみませんか。ちなみに、最近の 4 年間では 4 度全国大会（団体 3 回、個人 1 回）に出場しています。部の目標は、男女ともに全国大会での入賞です。

◆硬式テニス部(男子)

青空のもと、おもいきりテニスしませんか。一緒に良い汗を流しましょう。高校で硬式テニスを始める人も多いので大歓迎です。団体戦で道大会出場を目標に活動していますので、是非、部員みんなの力を合わせ、切磋琢磨し、目標達成に向けて共に頑張りましょう。

◆硬式テニス部(女子)

硬式テニスは、高校から始める初心者がとても多いスポーツです。テニス経験者、スポーツ経験者、中学で文化部だった人、どんな人でも大歓迎です！コンセプトは「楽しく前向きに練習し、心も体も強くなる！」です。合宿、遠征、練習試合、イベント…とにかく楽しいことがたくさんあるので、一緒に最高の時間を共有しませんか？



◆ソフトテニス部

初心者大歓迎！！もちろん経験者も大歓迎です。先輩、後輩仲のいい部活です。「うまくなりたい」という向上心のある人達が集まっています。毎年全道大会へ進出しています。ソフトテニス部でエースをねらおう！！



◆卓球部

一緒に卓球しませんか?初心者も経験者も大歓迎です!

大会にも積極的に出場しています。団体戦や個人戦があり、部員全員が出場し、練習の成果を発揮しています。練習を積み重ね、過去の自分に打ち勝ち、技術面、精神面共に成長することを目標の1つとして、一緒に活動しましょう!

ぜひ一度、練習を見に来てください!待っています!

◆少林寺拳法部

少林寺拳法の特徴である「力愛不二」(力のない愛は無力であり、愛なき力は暴力である)により、修行を通じて身体面の強さはもちろん、精神面も磨かれるため、人として成長することができます。また、少林寺拳法の技は、打撃技、固め技、投げ技など多種多彩で、力に頼らず身体をうまく使って技を行うため、男女問わず楽しみながら技を習得することができます。

ほとんどが高校生になってから少林寺拳法を始めた部員ばかりなので、未経験者はもちろん、運動が苦手な人でも十分楽しんで取り組むことができます。また、高校から始めても毎年全国大会に出場できている部活でもあります。

高校生になったことを機に「何か新しいことにチャレンジしたい」「今までの自分を変えたい」と思っている新入生にはぴったりの武道なので、是非気軽に格技場に見学に来てください!待っています!

◆写真部

人間は同じ顔を二度と作ることはできません。それは常に変化に富み、記憶にとどめておくことは困難です。瞬間の美しさをとらえ、わずかな動きも逃さず、生きた“その時”を撮るのです。思いついた時がシャッターチャンス。作品が出来た時も感動しますよ。

◆漫画研究部

主な活動として部誌を発行したり、イラストを描いたりしています。普段の活動はあまり目立ちませんが、文化祭では毎年大勢の人がこの部の展示を見に来てくれます。それに、やりとげた後の達成感や部の結束を高め、何物にも代えがたい思い出を残してくれます。興味のある方は、ぜひ社会科教室に来てください。

◆自然科学部

自然科学部では、様々な楽しい実験をしながら、サイエンスを楽しんでいます。学校祭やイベントでは、一般の方にもその楽しさを伝えられるように、研究工夫を重ねています。高文連理科大学への参加も活動目標のひとつで、平成13年・平成25年には全国大会に出場しています。高校生になってから始める人も多く、ちょっとマニアックな人も大歓迎。自然現象の解明、楽しく不思議な実験に興味のある人は、ぜひ入部してください。



◆美術部

美術部は、週5日活動し「お互いに切磋琢磨しながら楽しく有意義な部活動をする。」という心がけを大切に、高文連や各種大会に向けて頑張っています。経験も才能も全然関係ありません。バレーボール部やバドミントン部など、中学校の時は運動系の部活動に所属していた人もいて、学年問わず仲の良い部活です。

夏の高文連支部美術展、秋の全道美術展、よさこいソーラン祭りのオープニングアートパフォーマンス、チカホでのスクールアトラライブ、道展 U21、さっぽろ雪まつり、チカホでの校外展など、時には学校という枠を飛び越えて、とにかく年中なんか作ってます。

将来、美術系大学に進学したい人や充実した高校生活を送りたい人だけでなく、ちょっと興味のある人も一度美術室に来てみてください。

※R6 さっぽろ雪まつり「スノーオブジェコンテスト」では優勝しました！

※チカホでの「さっぽろアートステージスクールアトラライブ」では2年連続優勝しました！！



◆茶道部

裏千家淡交会准教授の先生の指導を受けています。学校祭や季節に合わせて茶会を開き、一服のお茶を差し上げることで、茶道部としての「もてなし」の心を実践しています。茶道の点前手順は、とても理にかなった、美しい所作です。毎日の活動を通じて、「和敬静寂」の精神を高めていけるよう努力しています。「和敬静寂」とは、お互いを敬い、清らかな気持ちで相手に接し、ものごとに動じない心のことです。学校茶道でできることは限られていますが、毎日忙しく過ぎていく中で、茶道を学ぶ時間を持ち、心にゆとりを取り戻しませんか。正座が苦手でも大丈夫です。2階作法室（畳の間）でお待ちしています。

◆書道部

札幌北陵高校書道部は、日常の練習に加えて毎年5月に行われる石狩支部研究大会、8月の石狩支部書道展などに参加し、書道の技術向上と作品制作に励んでいます。8月の書道展では高文連全道大会に出品する作品の審査も行われます。ここ最近は全道大会に進む作品が毎年出ており、さらに全道大会でも受賞しています。また、北陵祭では書道パフォーマンスも披露しています。書道の好きな人は勿論、何かを表現してみたい人、落ち着いたひとときを過ごしたい人にも向いている部です。初心者も大歓迎です。一緒に書道の奥深さを楽しみましょう。

◆合唱部

私たち合唱部は、一人ひとりが音楽に対しての考えを持ち、自分たちに今できるベストの演奏をする、という目標を掲げ、コンクールやイベントに向けて生徒主体で活動をしています。毎年、コーラスフェスティバル（6月）、高文連石狩支部演奏会（6月）、NHK全国学校音楽コンクール（Nコン）道央地区大会（8月）、北海道合唱コンクール（9月）、市民合唱祭（10月）に参加しています。そのほかにも、江

別市で開かれる合唱・声楽アンサンブル交流会「歌の花かご」に参加し、小学生から大人までさまざまな年代の人たちと歌を通して交流することができます。そして、1年間の集大成として、毎年たくさんの方のOB・OGといっしょに「定期演奏会」を開催しています。楽しい仲間とともに素敵なハーモニーを奏で、みんなでうたを歌って楽しみましょう！



◆吹奏楽局

私たち吹奏楽局は、外局としての校内における演奏をはじめ、校外においても様々な場で演奏活動を行っています。また、定期演奏会の開催や行灯行列等、地域の方々をはじめ、多くの方々に私たちの演奏を聴いていただけるような活動を行っています。

このように私たちは演奏を通して、音楽を演奏することの楽しさを実感しています。「心あれ！」のスローガンのもと、これからも局員一丸となって日々前進していきたいと思っています。音楽に興味のある人はぜひ、私たちと一緒に吹奏楽を楽しみましょう。

◆図書局

生徒会の外局活動として、日常の図書貸し出しなどを始め新刊図書紹介や貸し出し、館報『北陵らいぶらりい』の発行、ディスプレイの作成、学校祭での「古本市」の開催、図書研究大会への参加など、多彩な活動をしています。本を手にとって見るだけでもよろしいので、ぜひ一度図書館に来てみてください。待っています。

◆放送局

先輩後輩が協力して、昼休みの校内放送などに取り組んだり、行事のアナウンス、学校祭のビデオ編集を行っています。また、春と秋の放送地区大会に向け、アナウンス・朗読の練習をしたり、企画の構想を練っています。アナウンス・朗読だけでなく、映像編集に興味のある人は、一緒に活動してみませんか。



◆チアリーディング同好会

チアには、大きく分けて「ダンス」・「スタッツ」の要素があります。見た目は華やかですが、筋力・柔軟性・体力を必要とするスポーツです。私たちは主に生徒会行事、ボランティア活動などで演技してきました。チアの魅力は仲間とステージで演技しきった時の達成感！そして信頼しあえる仲間ができること！今は体が硬くても、筋力がなくても、ダンスができなくても…やる気さえあれば大丈夫です。高校生活を楽しみたいと思う人は、チアに入って一緒に青春しましょう☆

◆ボランティア活動について

本校には、ボランティア活動委員会があり、多様な活動を行っています。ボランティア委員が中心となって、全校生徒に様々なボランティア活動を呼び掛け、希望者が活動を行います。各クラスのボランティア委員が活動を呼びかけますので、積極的に参加しませんか！

「できるときに」「できる範囲で」やってみましょう！！

●校内：花壇整備・落ち葉拾い

校舎周りの清掃、花壇整備を5月に行っています。その後の手入れも大変ですが、放課後になると、自主的に雑草取りや水やりをえています。秋には、校舎周りの落ち葉拾いを行い、校舎の美化に努めています。

●地域：屯田大藤保育園との交流

本校に隣接しています屯田大藤保育園とも交流しています。保育ボランティア、絵本の読み聞かせ会を行っています。また、野球部による除雪ボランティア、雪像作りなどは北陵生にも貴重な体験ですが、園児たちもとても喜んでくれています。また、北陵祭の行灯製作を見学にきたり、かわいい訪問者に思わず笑顔になっています。

●地域：屯田北児童会館（屯珍館）との交流

屯珍館（屯田北児童会館）の冬の行事であるスノー&アイスクャンドルの会場設営のボランティアも例年行っています。サッカー部が活動しています。

放課後 自己診断～君も北陵生になろう～

以下は、みなさんが北陵生の一員として身に付けるべきスキルをまとめたものです。今から半年後、各項目について自己評価をしてもらい、北陵生になれたかどうかを確認します。

1 【北陵 spirit】

1	「自立・敬愛・進取」	北陵高校の校訓を理解し、日々向上心をもって高校生活を送ることができている。
2	「道徳心」	安易に周りの意見に流されることなく、自分自身でよく考え、善悪の判断をすることができる。
3	「聴く力。考える力」	他者の意見は、きちんとした姿勢で聴き、その内容についてよく考え、自分なりの意見を持つことができる。
4	「基本的生活習慣」	遅刻をしない、下校時刻を守るなど、高校生としての基本的な生活習慣を確立できている。
5	「素直な心」	親・教師・友人などから意見や忠告を受けたときには、素直な心でそれらを前向きに受け止めることができる。

2 【学習&進路】

1	「学習サイクル」	授業を中心とした、予習→授業→復習の学習サイクルが、しっかりと身に付いている。
2	「家庭学習習慣」	平日 2 時間、休日 3 時間を目安に、日常的な家庭学習に取り組むことができている。
3	「課題提出」	宿題や課題に取り組む際には、手を抜くことなく、期限を守って提出している。
4	「定期考査」	定期考査に向けて早目に計画を立て、きちんとした対策をとることができている。
5	「模試の活用」	模試の結果分析や解き直しを行うなどして、自分の進路実現に向けた学習へとつなげることができている。

3 【生活&安全】

1	「礼儀・挨拶」	いつでも、どこでも、誰にでも、自分から明るい挨拶を実践している。
2	「集団生活と環境整備」	集団生活のルールとマナーを守ること、皆が落ち着いた環境で、快適な生活を送れるように努めている。
3	「交通安全意識」	登下校の際には、交通ルールを遵守し、安全に配慮して通学することができている。
4	「物品管理能力」	忘れ物や落とし物をしないように注意し、自分の持ち物について、管理を徹底することができている。
5	「情報モラル」	ネット社会の危険性を理解し、スマートフォン等情報機器は、節度を守り正しく使用することができている。

4 【行事&課外活動】

1	「学校祭での協力体制」	北陵祭では、自分の役割を果たし、仲間と協力しながら積極的に取り組むことができた。
2	「学校行事への積極的な参加」	宿泊研修や体育大会でも、その意義を理解して積極的に参加することができた。
3	「HR 役員・係」	HR の役員・係として、自分がクラスに貢献できることを見つけ、行動することができている。
4	「課外活動」	授業以外に、部活動やボランティア活動などの課外活動にも、自ら進んで意欲的に取り組んでいる。
5	「勉強と部活動の両立」	勉強と部活動を両立することで、充実した高校生活を送ることができている。